

夏が過ぎ、一回り大きくたくましくなった子どもたち。
まだまだ続く暑さの中で、元気にお散歩や外遊びを楽しんでいます。
そろそろ夏の疲れが出てくる頃、しっかりと睡眠をとり、体調管理をしましょう。

9月9日は救急の日です

ご家庭での事故やケガの注意はいかがでしょうか。小さな子どもはまだ何が危険か予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人の考えもしないやり方で事故に遭う事が多くあります。

0～6歳児の事故の約40%が家の中で起こっています。大人が安全な環境を整えてあげましょう。

リビング



ソファやベビーベッドから転落や、たばこの吸殻やボタン電池を飲み込むといった事故があります。

ベランダ



ちょっとした台や棚、椅子に乗って、手すりを超える事故が3歳以上に急増します。窓辺やベランダに登れる物は絶対に置かないようにしましょう。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど調理器具でのやけどが多い場所。配置に気をつけてください。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中ちょっと目を離したすきに溺れるなどの水の事故の危険があります。

～子どもの事故を防ぐために～

だめ！あぶない！は危険のサイン



しかるより物の置き場を変えるなど、子どもが安全に過ごせる環境作りをしましょう。

大人も一緒になってやってみる



子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしましょう。遊具やおもちゃは一緒に遊んでみましょう。

一度あれば二度ある



危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えてみましょう。対策をしないと、大きな事故につながる恐れがあります。

異物・危険物を飲んでしまったら

食べ物以外の物を口から飲み込んでしまう事を誤嚥と言います。0～2歳児に頻繁に発生する事故です。危険物は手の届かない所に置くのが基本ですが、ティッシュやポリ袋など生活用品の管理にも注意が必要です。

誤嚥しやすいものリスト

紙類（ティッシュ・新聞紙）・シール・シャボン液・タバコ・硬貨・ビー玉・ゴムボール
ペットボトルのフタ・ミニカー（部品含む）・医薬品・洗剤

特に気を付けたいもの

薬のプラスチックシート



消化管を傷つける。



ボタン電池・マグネットおもちゃ（ネオジム磁石）



短時間のうちに消化管に潰瘍を作ったり、穴をあける。場合によっては命の危険もある。



水で膨らむビーズ（芳香剤・消臭剤・園芸用品など）



体内で数倍に膨らみ腸閉塞の原因に。



子供の口の大きさは



約4cm



トイレトペーパーの芯の直径とほぼ同じ

直径約4cm

誤飲チェッカー



直径39mm

誤飲チェッカーの中に隠れるものは飲み込む危険があります。

子どもの誤嚥防止の目安がこちらです。身の回りの物を一度確認してみましょう。これより小さいものはなるべく子どもに与えないようにしましょう。

のどに物が詰まった時や誤嚥の対処法

万が一異物が詰まってしまったら以下の方法が有効です。ただし、意識や呼吸がない場合は直ちに119番通報してください。

1歳未満

背部叩打法



①片腕の上うつ伏せに乗せ、手のひらであごを支えて頭部が低くなる姿勢にする。
②もう片方の手のひらのつけ根で肩甲骨の間を4～5回強く早くたたく。

1歳以上

胸部突き上げ法



①子どもの背部から両腕を回す。
②一方の手をグーに握り、親指をおへその少し上に当てる。
③もう片方を手を握った手に重ね、手前上方に一気に強く突き上げる。5回位繰り返す。